

哲学と経営

郷土が輩出した世界的な哲学者と宗教家に、西田幾多郎と鈴木大拙氏がおいでます。両者は四高当時から生涯交友がありました。

経営は人間の生の営み、人間の「営み」は自分の生活、命そのものです。経営は実践において「事実」を作る行為でなく「真実」を模索する行為でなければ

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年11月5日 (月) NO. 276

地域から明るい未来を作ろう

盆栽と今

今年も早、残り50日余りとなりました。先月、県外資本スパーのオープンにたまたま訪れ、ミニ盆栽の半

ならない。行為は必ず事実を生むが、それが事実であるとは限らない。自らの主観を主観の外(世界)から見る必要がある。未定の事実を模索し、見定めることが実践である。鈴木大拙は「宗教は上天からくるともいえるが、その実質性は大地に在る。霊性は、大地を根として生きている。萌え出る芽は天を指すが、根は深く深く大地に食い込んでいる」

「明き心、清き心というものが、意識の表面に動かないでその最も深き処に沈潜していつて、そこで無意識に無分別に莫妄想に動くとき、日本的霊性が認識せられるのである。」という。

額セールで直感で一挙に6種を購入した。先のゴムの木と合わせて一万円超、急に財布が寂しくなりました。

事務所内の職場環境の改善、他事務所と比して緑が格段に増え、空間に微かな自信を持つています。

この頃、盆栽に興味を持つ歳になったと自分を笑っています。小さな自然です。毎朝出勤時に、初めて手入れ(水やり)です。

経験がない分、自分の注意力が試されていると思って

新たに多額の投資に対し社長は大抵、方向を決めておいてますが、決断は孤独です。実行前に相談される方と、そうでない方がおいでます。

消費税があり業務委託でも事前にお話して頂きたいのです。後で問題が少な

ないように思っています。これは自分で十分熟慮され、相談されるため、先の先まで考

えている場合が多い、お話を聞

います。「盆栽」とは小さな鉢の中に、壮大な自然の景色を創り出す芸術作品なのです。



静かな絵画・彫刻などとは違い、盆栽は四季を通して、自然が織り成す美しい変化や生命の鼓動を毎日感じる事ができます。

また、世界的に見ても「ONSAI」の評価はたいへん高

いていても分かります。

相談があれば殆んどの場合否定をしません。

明らかに不自然な場合と、美

美しいこと

意識に欠ける以外は賛成し全面的に推しています。

経営の基本は自己責任である

ことも知っておいでます。

情報収集と、目標は数字では

く、欧米には数万部を発行する専門誌があるようで、イタリアに盆栽の大学や美術館まであるそうです。

盆栽には「育てるのが難しい」「金持ち・年寄りの趣味」というイメージがつきまといますが、近年は小品盆栽(20cm程度)やミニ盆栽(10cm)を趣味にする若者が急増しているそうです。

また錦鯉も海外でも有名ですが、初音ミクのアニメやマンガ文化の影響力は変わりません。

陽出る国、クールジャパン未来から今日です。

ない。話されることで自分を検証されているのが分かります。

欲から離れて、自分だったらどうします。

目標は具体的で、実際見えて、手で触れるものでしょう。

これまで決断の前に相談された方は、すべて決断し成功されておいでるのが実

際です。

しかし、失敗のない成功はありません。

